

青葉はつが野小学校の 学校給食調理業務委託化に関する要求

来年度、青葉はつが野小学校の学校給食が調理業務の民間委託化になる予定であると聞いています。和泉市の小学校では初めてです。青葉はつが野小学校は児童数が多く、アレルギー対応の必要な児童も多数在籍しています。食物アレルギーが多岐に渡ること、身体の未発達等、中学校より丁寧な対応が求められ、中学校と同じ仕様書の内容では、非常に不安を感じます。また、現在の仕様書による調理員の人数では、安全に給食を提供することが困難であると考えられます。

そこで、下記の事項を要求します。

記

1. 来年度の青葉はつが野小学校及び和泉市内の小学校の学校給食調理業務委託化は見送ること。
2. 小学校に見合った仕様書の内容を検討すること。
3. 安全に給食を実施できるようにすること。



泉北教組は、緊急の要求書(上記)を和泉市教委に提出し、30日に栄養職員部と合同で、交渉を行いました。参加した栄養教諭からは、「委託されている中学校の実態」が具体的に報告され、「小学校で同じことをすれば事故のリスクが高い」ことが指摘されました。交渉結果については、後日お知らせします。

このままでは 事故が起こる

泉北教組は、緊急の要求書(上記)を和泉市教委に提出し、30日に栄養職員部と合同で、交渉を行いました。参加した栄養教諭からは、「委託されている中学校の実態」が具体的に報告され、「小学校で同じことをすれば事故のリスクが高い」ことが指摘されました。交渉結果については、後日お知らせします。

小学校委託計画を 前倒し

和泉市の学校給食民間委託は、中学校(小中一貫校1校を含む)から順に開始されており、中学校の後に小学校を委託する計画でし

た。これまで委託校は、前年度までに給食調理室の改修工事(ドライ化)が行われていました。

しかし、来年度、中学校体育館の空調工事が行われることになったため、委託

和泉市小学校給食民間委託 この仕様書では不安です

ここもおかしい和泉市教育委員会 今年の学力調査は、本当に必要ですか？ 文科省も「教職員負担軽減」の文書を発出しました。

今年度中止となった「全国学力・学習状況調査」を、和泉市教育委員会が9月末までに全小中学校で、そのまま行うことを指示しています。近隣市で、調査問題の一部を学校判断で実施するところがありますが、全部を強制的にやらせる市は聞いたことがありません。今、中3・小6の生徒・児童にとって、一番必要なことは、コロナ休校により遅れた学習内容を一日も早く回復することであり、「調査」は不要・不急であると多くの教職員は考えています。

文部科学省も、7月17日付で「新型コロナウイルス感染症の対応に伴う令和2年度文部科学省が行う学校宛ての定期的な調査の見直しについて」を発出しました。この中で「新型コロナウイルス感染症対策に伴う負担軽

減の観点から、文部科学省が学校を対象として行う定期的な調査の見直しに取り組んでいますが、本年度の調査中止や時期の変更、調査期限の延長等、令和2年度実施予定調査にかかる見直しを行いました」とし、「学調」もその2番目に「中止」することが掲載されています。「学調」の採点や結果分析は教職員の大きな負担となり、この文書の趣旨に大きく反します。

授業時数確保の観点からも、また教職員の負担軽減の観点からも、和泉市教委が直ちに指示を撤回されることを求めます。

